



月信

2025
5
No.11

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

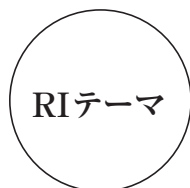


Rotary
第2820地区



国際ロータリー第2820地区
2024-2025年度

ガバナー **大高 司郎**



目次

ガバナーメッセージ	1
青少年奉仕月間に寄せて	2
IM報告	3
第3分区 第2分区 第5分区 第4分区	
地区チームラーニングセミナー報告	7
会長エレクト研修セミナー報告	8
クラブ創立記念式典	9
北茨城RC	
インフォメーション	10
My ROTARY登録状況	12
会員増強報告	13
クラブバナー紹介 第8分区	

表紙写真 茨城県北の海、山。まちを訪ねて

阿武隈の山なみと太平洋の海ばら 自然豊かな高萩市

茨城や福島臨海地域の発展をもたらした鉄道、常磐線開業から128年。高萩駅は石炭、工業製品、セメント等貨物列車を組成する重要な拠点駅だった。落ち着いたレトロなたたずまいの木造駅舎は、昭和100年の栄枯盛衰を物語る。

東京オリンピックに備えて、1938年KDD創業の茨城衛星通信所は、ケネディ大統領暗殺の大ニュースを受信。今、巨大なパラボラアンテナは国立天文台に移管、日本の衛星通信発祥の地は、さくら宇宙公園（高萩市衛星通信記念公園）である。

自然豊かな高萩市。白砂青松の高萩海岸や赤浜海岸が広がり、その中間には海食崖、海岸絶壁の高戸小浜（日本の渚百選）の景勝地、秋には白いハマギクが咲く。

題字揮毫 高萩ロータリークラブ第31代会長 鈴木啓志（雅号 鈴木 赫鳳）
日展会員 日展審査員（2023年度）



学びを力に、つながりを未来へ

2024-25年度
国際ロータリー第2820地区
ガバナー **大高 司郎**
(高萩RC)

IM (Intercity Meeting) を終えて

IMとは、同一区分内の複数のクラブが合同で開催する会合です。通常のクラブ例会とは異なり、より広い視点での学びや交流を目的としており、クラブ間のつながりを深める貴重な機会です。

本年度、地区内8分区すべてにおいてIMが無事に、そして盛況のうちに終了いたしました。ガバナー補佐の皆さまには、地域のニーズを的確にとらえ、トレーニングからラーニングに至るまで、多くの工夫を凝らして企画・運営をしていただきました。IMの開催は、区分内の会員がロータリーについて学び、親睦を深める場であり、ガバナー補佐にとっては責務であると同時に、活躍の舞台でもあります。それぞれのIMを通じて、ロータリーの存在価値をあらためて実感することができました。皆さまの熱意と尽力に、心より敬意を表します。

IMはまた、クラブの垣根を越えた情報交換や意見共有の機会でもあります。他クラブの取り組みに触れることで、自クラブの活動へのヒントや刺激を得た、との声も多く寄せられました。新たに入会された会員にとっても、ロータリーの理念や組織の広がりを感じ、ロータリアンとしての誇りと自覚を育む場になったことと思います。

IM終了後には、久しぶりに“フルバージョン”とも言える懇親会も開催され、各クラブの会員が交流を深める和やかで賑やかな時間となりました。クラブの垣根を越えて交わされた歓談は、親睦の絆をさらに強める素晴らしいひとときだったと感じております。

なお、各IMの詳細はガバナー月信にてご紹介しておりますので、ぜひご一読ください。

次年度に向けて

2025-26年度（瀬戸隆海ガバナー年度）に向けて実施された地区の三大セミナーは、多くの会員の皆さまのご参加を得て、先日の地区研修・協議会（DTA）をもって全日程が成功裏に終了いたしました。ご参加いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

セミナーの中では、瀬戸隆海ガバナーエレクトが、2025年2月に米国フロリダ州オーランドで開催された国際協議会にて学ばれた、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ国際ロータリー会長エレクトのメッセージを熱く紹介されました。

デ・カマルゴ会長エレクトは「UNITE FOR GOOD (よいことのために手を取りあおう)」をスローガンに掲げておられます。

また、瀬戸ガバナーエレクトからは「時は今 ところ足元 そのことに 打ち込む命 永久の御命」との地区行動指針が発表され、地区の結束と基盤の強化を呼びかけられました。その熱い想いは、参加された皆さま一人ひとりの心に深く届き、次年度への力強い一歩となったことと思います。

私自身も次年度には複数の新たな役職を拝命しており、今年度とはまた異なる立場から、瀬戸年度に微力ながら全力で貢献してまいります。引き続き、皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

『ロータリーの友』3月号 寄稿について

少し前になりますが、『ロータリーの友』3月号にて「ガバナーのロータリー・モメント」として、私のロータリー体験を寄稿させていただきました。

寄稿文では、クラブ会長職を終えて1年後にガバナー補佐として新たな任をいただいた当時の思いを振り返っています。ガバナー補佐に就任するには、正会員であること、クラブ活動への積極的参加、そして会長経験が条件です。私の所属する高萩ロータリークラブには、その条件を満たす方が多数おられましたが、年功序列の流れの中で最後に残った私が、その役をお引き受けすることとなりました。

「もし他の方が担っていたら、今の私はなかったかもしれない」との思いを胸に、与えられた1年の任務を全ういたしました。担当した第1分区には7つのクラブが所属しており、会長・幹事の皆さまと力を合わせて活動を進める中で、「7クラブすべてでロータリー賞（現：クラブ優秀賞）に挑戦する」という共通の目標に取り組みました。時には「飲みにケーション」も大切にしながら、各クラブと緊密に連携して歩んだ日々は、今も心に残るかけがえのない経験です。

寄稿文を通じて、ロータリーの奉仕精神とクラブの団結力の素晴らしさを共有できれば、これ以上の喜びはありません。

近年、ガバナー補佐の選出において難しさを感じている分区もあると聞いております。会長経験者の皆さまには、改めてそのやりがいや意義を感じていただき、積極的にチャレンジしていただけることを願っております。



特別月間

青少年奉仕月間に寄せて

青少年奉仕委員会 総括委員長

高田 稔 美

(つくば学園RC)

ロータリーにおける青少年奉仕は1908年、1人の貧しい新聞売りの少年への支援からはじまったとされています。わが地区の青少年奉仕委員会はインターアクト・ライラ・青少年交換の3つの委員会で構成されています。五大奉仕の一翼を担う奉仕活動ですが、わが地区では先達が素晴らしい事業を継続してきました。今年度は大高司郎ガバナーのBE THE INSPIRATION「元気な一歩、共に成長するクラブの力」のスローガンのもと、「基本方針として①奉仕活動で国際社会と地域へ貢献②SDGs実現を目指す人材育成③危機管理の周知と徹底④青少年と共に我々ロータリアンも成長する、の4点を軸に活動しております。7月28日の「青少年奉仕研究会」を始まりに各事業を展開しました。

「インターアクト委員会」は8月12日（月）に水戸女子高等学校をホストにスポンサークラブ・水戸西RCにて「インターアクト年次大会」を開催しました。地区内6校のインターアクターが一堂に会し・大会テーマ:「今、世界とつながろう」とし、基調講演は「世界で生きる子どもたち」と題し講師として「茨城県ユニセフ協会」小澤八千代先生をお招きし世界の子どもたちの窮状を知り、「世界に絵本を届ける活動」を実践しました。素晴らしい年次大会になりました。また5年ぶりに台湾研修を実施することができました。台湾の米山奨学会、ロータリーファミリーの協力により実のある研修となりました。今後も台湾のロータリー関係者との良好な関係を継続して規模はその年に応じて異なるとは思いますが是非続けていきたいと願うばかりです。「青少

年並びにライラ委員会」は第45回ライラセミナーを、14歳～35歳のロータリーファミリーや青少年を対象に9月21日（土）22日（日）高萩市にある大和の森 高萩スカウトフィールドで開催しました。テーマは「社会規範と私たち～現代社会をどう生きるか～」と題し、34名の受講生が参加し、ロータリアンが延べ人数で32名参加しました。素晴らしい研修の機会となりました。

「青少年交換委員会」では1名アメリカに留学生を派遣しておりますが、残念ながら交換の形とはなりませんでした。アメリカで元気に生活されているとのことで、帰国後の報告が楽しみです。

また大高司郎ガバナー主導のポリオ根絶イベントを10月27日（日）に笠間の地で開催いたしました。当日は620名のロータリーファミリーが参加し地区一丸となつての啓蒙活動は無事に修了することができました。

青少年奉仕は「未来への希望」です。青少年奉仕という種がいつか花開き、素晴らしい人材が世界各地で活躍してくれることを願っています。





第3分区 I M報告

第3分区 ガバナー補佐

高 原 裕

(水戸RC)

2月15日国際ロータリー第2820地区ガバナー大高司郎様をはじめ、IMリーダー新井和雄様、分区内パストガバナーの皆様、そして分区内8クラブより多くの会員の皆さんにご参加いただき、又ご来賓として水戸市長 高橋靖様にご臨席を賜り、インターシティミーティングが盛大に開催されました。

今年度のIMテーマは「世界で、地域で良いことをしよう」

～五大奉仕に寄与したロータリー財団の補助金プロジェクト～

地区ロータリー財団総括委員長、第3分区IMリーダーの新井和雄様に特別講演をお願いいたしました。そして、ロータリー財団地区補助金を活用した奉仕プロジェクトについて第3分区8クラ

ブから発表がありました。内容は多岐にわたり、各クラブの熱い想いが伝わってきました。皆さん、ありがとうございました。入会間もない会員にとっても、良い機会になったのではと思います。

懇親会では「クラブ対抗 一流ロータリアン 格付け大会」と銘打ち、各クラブから選抜された16名の選手が、クラブの名誉と威信をかけて戦いました。お陰様で大変な盛り上がりで、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

今回のIM開催にあたりホストクラブの水戸ロータリークラブ櫻場誠二会長、佐藤平八郎幹事、岡崎恵一郎実行委員長をはじめとして会員の皆様には大変お世話になりました。また、ご参加いただきましたロータリアンの皆様に感謝申し上げ、ご報告と致します。





第2分区 I M報告

第2分区 ガバナー補佐

大谷 昌吉

(常陸太田RC)

去る2月16日(日)に開催されました第2分区IMの報告をいたします。

本年度第2分区IMは、常陸太田ロータリークラブ(以下RCと記す)主幹により、大野治夫IMリーダー(つくば学園RC)ご指導のもと、ひたちなか市のホテルクリスタルパレスにおいて開催されました。

サンフランシスコRCとオークランドRCの会合から1914年にスタートしたIMは、100年以上の歴史を経て、会員相互の親睦とロータリー活動の情報交換、そして奉仕の理念を勉強することを目的に継承されています。

その理念に基づいて、ロータリークラブという組織において、会員相互が同じ目的・理念を共有し合って1年間活動していくことがRC活動において最も大事なことだという想いで、「ロータリーを共有しよう」というテーマを先ず掲げました。

さらに、ロータリー運動の原点は例会に参加することであり、その例会の拡大版がIMという位置付けで、例会のあり方を見事に表した言葉である「入りて学び、出でて奉仕せよ」という言葉をサブテーマに掲げました。

常陸太田RC澤島会長中心にメンバーが一丸となって準備にあたり、当日はそれぞれの役割分担を全うしながら、緊張の面持ちの中、午後1時30分の開会の点鐘から本会議の第1部がスタートしました。

来賓挨拶として大高ガバナーからは、ロータリーの理念を象徴した「ロータリーを共有しよう～入りて学び、出でて奉仕せよ～」のテーマのもと、このIMを契機にロータリーの「学びと奉仕の循環」の素晴らしさをあらためて実感し、明日からの活動への一歩としてほしいという励ましのお言葉をいただきました。

第2部の記念講演は、SDGs「つくる責任、つかう責任」というテーマで、茨城県県民生活環境部環境生活課の雨ヶ谷理美副参事からいばらきフードロス削減プロジェクトについてのご講演をいただきました。

気候変動による農産海産物の相場の高騰が引き起こしている食品の値上げや発展途上国における飢餓の問題等と我々の生活に身近なフードロスという問題を結びつけて考えた時、消費者としてだけでなく、日々のRCの奉仕活動の新たなテーマとしてフードロス削減にどう取り組むかという課題を投げ掛けられたお話でした。

第3部は「我がクラブの“魅力ある人”、“魅力ある組織”を紹介します」というテーマで、各クラブ7～8分間で7

クラブが人と活動の魅力をプレゼンしました。

分区内であってもあらためてそれぞれのクラブの活動の魅力に触れ、気づきをもってそれぞれのクラブの次の活動の糧にできたことと感じています。

ただ、各クラブとも事業についてのお話が主で、“人”の魅力についてもっと取り上げて紹介してほしいというのが、この後のまとめとしての大高ガバナーの総評と大野IMリーダーの所感の中での共通したお話でした。次回以降このテーマが取り上げられた時に期待しています。

予定したすべてのプログラムが終了して、最後にお楽しみの懇親会に移ります。

中村澄夫パストガバナー(東海那珂RC)に乾杯の音頭を取っていただいて、祝宴の始まりです。アトラクションは、TOSHIKING(トシキング)というものまね芸人の歌で盛り上がり、出演料並みのおひねりが飛び交って、ここでもロータリアンは奉仕を怠りませんでした。一番はしゃいでいたのは、大野IMリーダーでした。最後に、次年度の7クラブの会長・幹事が演壇に一同に会して自己紹介をして、激励の拍手のもとIMが終了いたしました。

第1部の本会議のガバナー補佐の挨拶の中で、常陸太田RCの衛星クラブの設立についてのお話をしました。会員増強が思うように進まない現状を踏まえて、ロータリーの参加基盤を広げる新しいタイプのクラブの必要性を感じて、澤島会長中心にクラブ一丸となって動いた成果であるわけですが、この太田の衛星クラブの今後の活動の動向や情報を6クラブの皆さんと今後このIM等を通じて共有して、第2分区の発展に寄与できればと考えています。

最後に、今年度第2分区IMを主幹した澤島会長をはじめとする常陸太田RCの皆さんに深く感謝申し上げて、ガバナー補佐としてのIMのご報告といたします。





第5分区 I M報告

第5分区 ガバナー補佐

笠倉 勉

(しもだて紫水RC)

2025年2月22日、国際ロータリー第2820地区第5分区インターシティミーティングを大高ガバナー、中村IMリーダー、萩原PDG、山崎PDG、新井PDG、藤木DGN、地区内外ロータリアン、地区内ローターアクト、そして、第5分区各クラブのロータリアンの参加で盛大に開催しました。

今回のIMは2月23日のロータリー誕生120年の前夜祭として「ロータリーの120周年を祝おう」のテーマで開催しました。下館ジャズバンドのウェルカムコンサートで皆様をお迎えし、開会行事をスタートしました。

第1部はパネルディスカッションで6名のパネリストに登壇いただき、「ロータリーの過去・今・未来」について語っていただきました。パネリストも未来のロータリアンのローターアクト・若い会員のサテライトクラブ、そして、ガバナーノミニーにも参加して頂きました。

2部はパネルディスカッションを聞いて「今後のロータリー」「私が会長・ガバナーになったら」で自由に意見を言えるテーブルディスカッション

とし、テーブルには様々なクラブの方々と交流ができるように事前に席をきめておきました。来賓の方々にも自由に参加して頂きました。

閉会行事では、大高ガバナーの所感、中村IMリーダーから総評をいただき、素晴らしいIMでしたとお褒めの言葉をいただきました。次期IM開催ホストクラブの森会長、野寺次期ガバナー補佐からも挨拶をいただきました。終了後には、参加者全員で集合写真も撮ることができました。

懇親会は、テーブルディスカッションと同じ席、そしてメインテーブルは晩餐会みたいに皆で1つのテーブルにし、楽しい会話が飛び交いました。テーブルマジックショーで各テーブルを更に盛り上げていただきました。また「手に手つないで」で参加者同士の交流と親睦を深めたと思います。

最後に、大勢のロータリアンに参加いただき素晴らしいIMが開催できたこと、そして、運営・設営と協力をいただきましたしもだて紫水RCの皆様から感謝を申し上げます。





第4分区 IM報告

第4分区 ガバナー補佐

小林 隆一

(古河中央RC)

2025年3月1日ご多用の中を大高司郎ガバナー、IMリーダーに池田正純パストガバナーのご指導の基、国際ロータリー第2820地区第4分区IMを5クラブ143名の登録をいただき、[古河市生涯学習センターとねミドリ館]にて開催しました。

今回は、「気候危機と持続可能な未来」をテーマとして二人の講師にご講演を戴き、また、分区内各クラブより1名の方に「この環境、あなたならどうする」をテーマに発表してもらいました。皆様ご存じの様に昨今、世界中で異常気象と云われるものが多発しています。

ヨーロッパでは近年、異常高温や豪雨などの被害。中国では、大雨、洪水、高温、干ばつなどの被害が頻発しています。東南アジアでの洪水や台風、干ばつなどの被害。アメリカでは、干ばつ、熱波、洪水、ハリケーン、山火事などの異常気象

が発生しています。地球規模で気候変動の影響が深刻化しており、経済や健康に大きな被害をもたらしています。

わたし達ロータリアンは情報を正確に認識し、世間に正確に伝えなければなりません。

私たちはこの環境を作った当事者です。我々の時代は何を言われても弁解の余地はありませんが、“無知だった為”しかし、理解し解った以上は、子・孫にまで負の問題を引き継がせる訳にはいきません。

“まずは一步”何もしないのではなく、小さなところから。

そして、共に行動することが大事かと考えます。

このIMを通じて参加者に現状の気候環境を深くご理解戴き、ロータリアンとしての考動に期待をしています。





2025-2026年度 地区チームラーニングセミナー報告

実行委員長

北村 英明

(水海道RC)

2025年3月23日（日）つくば市のホテルグランド東雲を会場として、2025-2026年度地区チームラーニングセミナー（DTLS）を開催いたしました。

瀬戸隆海ガバナーエレクトが主催する地区3大セミナーの皮切りとして開催された本セミナーは、次年度に向けた地区役員・ガバナー補佐の皆さんをはじめとするメンバーへの活動指針の発表の場として大変重要なセミナーとなります。

本セミナーには、大高司郎ガバナー・高橋賢吾ファシリテーター代理をはじめ諮問委員・地区役員・地区委員の皆様にご参加頂き、盛大に開催することができましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

水海道ロータリークラブで主管するのは4半世紀前のことであり、当時と近年のノウハウも少なからず変化していることも考慮に入れながら準備にあたり、結果的にはスムーズな進行ができ、クラブメンバー他、関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

セミナーでは、瀬戸ガバナーエレクトからマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴR I会長エレクトが表明したメッセージ「良いことのために手を取りあおう」をはじめとする、米国オーランドの地で学ばれた国際競技会の内容を細かにご説明頂きました。その後、「ロータリー行動計画」「地区行動指針」「地区数値目標」等が発表されました。特に「時は今 ところ足元 そのことに 打ち込む命 永久の御命」という地区行動指針には、瀬戸エレクト

の“この一瞬をできる限り努力することの大切さ”に対する信念やご本人の決意表明を感じた次第です。



その後、地区危機管理について大野治夫危機管理委員長から、3-Year Targetsについて大高ガバナーから、地区戦略計画と規定審議会について高橋賢吾PGから、それぞれご説明を頂きました。昼食後の分科会の後は、各分区ガバナー補佐の皆様からの方針説明、8人の各総括委員長の皆様からの方針説明があり、分区・地区の向かう方向付けが確認されました。

このセミナーを通して、瀬戸年度に各クラブやロータリアンを効果的に支援して行くための地区体制がしっかりと構築されたことを確信し、第2820地区の更なる発展を御祈念申し上げ、DTLS開催のご報告とさせていただきます。





2025-2026年度 会長エレクト研修セミナー報告

実行委員長

古 矢 満

(水海道RC)

さる3月29日～30日の2日間、つくば市のホテル日航つくばにて、2025-2026年度国際ロータリー第2820地区 会長エレクト研修セミナーを開催しました。初日は季節外れのとても寒い雨の中、早朝より各クラブの会長エレクト、各パストガバナー諮問委員、各ガバナー補佐、各地区役員、総括委員長の皆様方のご参加のもとセミナーを開会いたしました。

1日目は開会セレモニーに続き、瀬戸ガバナーエレクトによる「RI会長メッセージと地区運営方針」を提起されました。その後、高橋賢吾地区ラーニング委員の「クラブ会長の責務と役割」、大野治夫危機管理委員長の「危機管理について」を、それぞれ拝聴し研修セミナーの基本的な方向が示されました。昼食休憩の後、大高司郎ガバナーによる「クラブ優秀賞について&3-Year Targets」、高橋賢吾戦略委員会委員長による「戦略計画について」を、それぞれ丁寧に説明頂きました。その後、仙台泉ロータリークラブの菅原裕典様による「ロータリーの現状」をテーマとしてご講演をいただきました。丁寧でとても分かりやすいお話で皆様熱心に拝聴されていました。



そして、各分区ごとにグループディスカッションを開始し、終了後に各ガバナー補佐による分区の方針とディスカッションの報告をしていただき、初日のセミナーを閉会しました。

その後、会場を替えホストクラブ所属でもある北村 仁 諮問委員による乾杯の後、和やかに懇親会を開催しました。歓談で皆様の友情と絆を確認後、とても息の合った「手に手つないで」で懇親会を閉会しました。その後、当日希望者のみの参加で場所を変え同ホテルのラウンジにて二次会を開催しました。事前に40名参加での準備をしていましたが、ほとんどの席が埋まりほっといたしました。最後まで楽しい時間をありがとうございました。

2日目は各総括委員長による講演を、セッション1～セッション6に区切り各委員会より映像を活用したわかりやすい説明を受け、皆様それぞれ学習を深められ、正午にすべてのセミナーの閉会をしました。

ホストクラブとして、設営に不備があったとは思いますが、各会長エレクトの皆様のご意欲の高まりを実感し、無事に研修セミナーが開催できましたこと感謝いたします。皆様ご参加ありがとうございました。



北茨城ロータリークラブ創立50周年記念式典

北茨城RCは昭和50年（1975年）2月18日に高萩RCをスポンサーとして会員22名で発足しました。創立50周年を迎えるにあたり「これまでの50年 これからの50年」をテーマに、瀧慶治実行委員長を中心に50周年記念事業をすすめてきました。50周年記念事業としては、1) 常磐自動車道中郷SA（上下線）への「雨情枝垂桜」の植樹、2) 北茨城市磯原地区公園テニスコートへの掲示板寄贈、3) ロータリー財団への寄附、4) 米山奨学会への寄附を実施いたしました。

そしてこの度、4月6日に大高司郎国際ロータリー第2820地区ガバナー、大井川和彦茨城県知事、豊田稔北茨城市長をはじめ多くのご来賓と友好クラブのロータリアン、当クラブの活動にご協力いただいた皆様にご臨席いただき、創立50周年記念式典を晴天下の太平洋を望む五浦観光ホテル別館大観荘にて挙行了しました。

式典第1部では当クラブのこれまでの50年の歩みをスライドショーで紹介し、東日本大震災の際に漁港復興に多大なるご尽力を賜りました山崎清司パストガバナー（古河東RC）へあらためて大津漁協鈴木徳穂組合長とともに謝辞を述べさせていただきます。スポンサーである高萩RCへの感謝状の贈呈の際には、当クラブでロータリー在籍52年を迎え、本式典で特別顕彰を受けた毛利尚方会員のご子息の画家毛利元郎

氏が描いたゼラニウム（花言葉は「真の友情」、「信頼」、「尊敬」）を贈呈させて頂き、報告を行いました。

式典第2部では、毛利会員が川崎幸RC在籍時に米山留学生として海外へ送り出した大堀由美子様のヴァイオリン演奏と北茨城が生んだ童謡作詞家野口雨情のお孫さんにあたる野口不二子様のお話で野口雨情の詩の世界に触れ、当クラブ会員に募った歌詞を織り込んだ創立50周年記念ソング「これまでの50年 これからの50年」（北茨城市出身のKura（平野祥子）様作曲）を福田唯志様の歌でご披露させて頂きました。

懇親会の部では、柳貴家宗家ご一門に縁起のよい水府流水戸大神楽をご披露頂き、ご参加の皆様と親交を深めました。最後に当クラブの会員全員で記念ソング「これまでの50年 これからの50年」を、皆様とは「手に手つないで」を歌い、盛会のうちに閉会を迎えることが出来ました。

当クラブはこれからの50年、地域・日本・世界が久遠の平和を得るために何をすべきかを常にクラブ自身に問いかけながら日々のロータリー活動に励みたいと存じます。これからも皆様方のご支援・ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

（会長 丹 幸一郎）



インフォメーション

◇ 5月～6月のスケジュール ◇

- | | |
|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 5月10日(土) RAC年次大会
(ホテル テラス ザ スクエア日立) | 5月27日(火) 土浦南RC創立60周年記念式典
(L'AUBE kasumigaura) |
| 5月10日(土) RLIファシリテーター勉強会
(ホテル テラス ザ ガーデン水戸) | 6月1日(日) 牛久RC創立40周年記念式典
(牛久シャトーレストラン) |
| 5月18日(日) RLI研修会
(リリーベール小学校) | 6月8日(日) 第4回ガバナー補佐・総括合同会議/第2回会長・幹事会
(ホテル テラス ザ スクエア日立) |
| 5月22日(木) 水戸好文RC創立15周年記念式典
(水戸三の丸ホテル) | 6月14日(土) 2025-26年度クラブ活性化セミナー |
| 5月25日(日) 友部RC創立40周年記念式典
(地域交流センターともべ「トモア」) | 6月15日(日) 第4回諮問委員会 |
| | 6月21日(土) 国際大会(カルガリー)
～25日(水) |

◇ 新会員紹介 ◇ Enjoy Rotary

(敬称略)



常陸太田RC
佐々木 正

■入会日
2024年12月4日

■職業分類
鋳造業



龍ヶ崎中央RC
中村 レイシェル フィレル

■入会日
2024年12月13日

■職業分類
飲食業



龍ヶ崎中央RC
信島 貞男

■入会日
2024年12月13日

■職業分類
保険業



龍ヶ崎中央RC
堀越 祐二

■入会日
2024年12月13日

■職業分類
建設業



東海那珂RC
空 英俊

■入会日
2025年1月8日

■職業分類
電気工事



土浦南RC
池田 雄一

■入会日
2025年1月14日

■職業分類
建設業



東海那珂RC
海老澤康徳

■入会日
2025年2月1日

■職業分類
建築業(造園)



土浦中央RC
沼田 浩

■入会日
2025年2月5日

■職業分類
土木建築設計



石岡RC
入江 誠

■入会日
2025年2月5日

■職業分類
住宅販売

◇ 新 会 員 紹 介 ◇ Enjoy Rotary

(敬称略)



土浦RC
吉田 達也
■入会日
2025年2月6日
■職業分類
土木建築



土浦RC
山本 一廣
■入会日
2025年2月6日
■職業分類
建設業



笠間RC
藤枝 英明
■入会日
2025年3月1日
■職業分類
輸出業



竜ヶ崎RC
糸賀 康浩
■入会日
2025年3月4日
■職業分類
運輸業



竜ヶ崎RC
林 佳範
■入会日
2025年3月4日
■職業分類
養護老人福祉施設



竜ヶ崎RC
菊地 建治
■入会日
2025年3月4日
■職業分類
金物小売業



竜ヶ崎RC
野上 俊雄
■入会日
2025年3月4日
■職業分類
歯科医



友部RC
伊藤 和宏
■入会日
2025年3月18日
■職業分類
歯科医師



訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。



鹿島中央RC
和田 積
(享年 93才)
1932年1月10日生
2025年2月11日ご逝去
1996年3月7日入会
食品製造業

■ロータリー歴
1998-1999年度 クラブ会長
2002-2003年度 地区委員
2003-2004年度 ガバナー補佐

■認証
R財団 1998-1999年度 ポール・ハリス・フェロー
米山記念奨学会 2003-2004年度 米山功労者



那珂湊RC
磯崎久喜雄
(享年 80才)
1945年6月26日生
2025年3月18日ご逝去
1996年2月5日入会
介護

■ロータリー歴
29年2ヶ月
■認証
ベネファクター (2016-2017)

国際ロータリー第2820地区

2024-25年度

My ROTARY 登録状況

※データは4/15現在のMy ROTARYに基づく



2025年4月15日現在

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第1分区	日立	69	61	88.4
	日立南	36	34	94.4
	高萩	35	34	97.1
	北茨城	26	26	100.0
	日立港	33	28	84.8
	日立北	28	25	89.3
	日立中央	21	15	71.4
	合計	248	223	89.9

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第2分区	那珂湊	18	14	77.8
	常陸太田	38	20	52.6
	大子	25	24	96.0
	大洗	15	6	40.0
	勝田	28	28	100.0
	東海那珂	34	33	97.1
	ひたちなか	23	22	95.7
	合計	181	147	81.2

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第3分区	水戸	120	101	84.2
	笠間	19	18	94.7
	水戸西	70	67	95.7
	水戸南	77	77	100.0
	友部	20	19	95.0
	水戸東	62	57	91.9
	水戸さくら	26	26	100.0
	水戸好文	16	15	93.8
	合計	410	380	92.7

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第4分区	古河	51	41	80.4
	境	31	21	67.7
	岩井	9	1	11.1
	古河東	46	38	82.6
	古河中央	50	50	100.0
	合計	187	151	80.7

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第5分区	下館	26	26	100.0
	結城	23	22	95.7
	真壁	13	11	84.6
	下妻	67	61	91.0
	しもだて紫水	51	50	98.0
	筑西きぬ	14	14	100.0
	岩瀬	17	16	94.1
	合計	211	200	94.8

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第6分区	石岡	16	12	75.0
	土浦	47	43	91.5
	土浦南	88	87	98.9
	つくば学園	104	91	87.5
	石岡87	26	25	96.2
	土浦中央	12	10	83.3
	つくばシティ	57	56	98.2
	阿見	14	6	42.9
	つくばサンライズ	17	14	82.4
	合計	381	344	90.3

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第7分区	電ヶ崎	34	20	58.8
	水海道	50	34	68.0
	取手	14	14	100.0
	牛久	40	35	87.5
	守谷	3	2	66.7
	龍ヶ崎中央	12	11	91.7
	合計	153	116	75.8

	クラブ名	会員数	登録人数	%
第8分区	鉾田	27	15	55.6
	鹿島臨海	41	19	46.3
	玉造	9	7	77.8
	波崎	16	9	56.3
	鹿島中央	21	16	76.2
	合計	114	66	57.9

茨城ロータリーE	10	8	80.0
----------	----	---	------

	会員数	登録人数	%
地区合計	1895	1635	86.3



国際ロータリー第2820地区

2024-25年度
会員増強報告

地区目標
純増100名

※データは4/13現在のMy ROTARYに基づく

1. ロータリークラブ会員数

2025年4月13日現在

	クラブ名	期首会員数	純増	4/13会員数	内女性会員数
第1分区	日立	68	1	69	2
	日立南	34	2	36	4
	高萩	26	9	35	1
	北茨城	26	0	26	3
	日立港	33	0	33	2
	日立北	27	1	28	2
	日立中央	18	3	21	3
	合計	232	16	248	17

	クラブ名	期首会員数	純増	4/13会員数	内女性会員数
第2分区	那珂湊	19	-1	18	1
	常陸太田	28	10	38	6
	大子	21	4	25	2
	大洗	17	-2	15	0
	勝田	26	2	28	4
	東海那珂	32	2	34	0
	ひたちなか	20	3	23	2
	合計	163	18	181	15

	クラブ名	期首会員数	純増	4/13会員数	内女性会員数
第3分区	水戸	120	0	120	4
	笠間	15	4	19	1
	水戸西	68	2	70	13
	水戸南	76	1	77	11
	友部	18	2	20	0
	水戸東	66	-4	62	4
	水戸さくら	26	0	26	4
	水戸好文	17	-1	16	14
	合計	406	4	410	51

	クラブ名	期首会員数	純増	4/13会員数	内女性会員数
第4分区	古河	45	6	51	5
	境	31	0	31	0
	岩井	9	0	9	2
	古河東	47	-1	46	14
	古河中央	47	3	50	5
	合計	179	8	187	26

	クラブ名	期首会員数	純増	4/13会員数	内女性会員数
第5分区	下館	24	2	26	4
	結城	23	0	23	0
	真壁	14	-1	13	0
	下妻	63	4	67	7
	しもだて紫水	52	-1	51	4
	筑西きぬ	12	2	14	3
	岩瀬	19	-2	17	0
	合計	207	4	211	18

	クラブ名	期首会員数	純増	4/13会員数	内女性会員数
第6分区	石岡	16	0	16	0
	土浦	43	4	47	10
	土浦南	86	2	88	7
	つくば学園	99	5	104	4
	石岡87	25	1	26	0
	土浦中央	10	2	12	0
	つくばシティ	55	2	57	8
	阿見	15	-1	14	1
	つくばサンライズ	11	6	17	6
	合計	360	21	381	36

	クラブ名	期首会員数	純増	4/13会員数	内女性会員数
第7分区	竜ヶ崎	31	5	36	5
	水海道	52	-2	50	2
	取手	18	-4	14	1
	牛久	37	3	40	3
	守谷	3	0	3	0
	龍ヶ崎中央	8	4	12	3
	合計	149	6	155	14

	クラブ名	期首会員数	純増	4/13会員数	内女性会員数
第8分区	鉾田	27	0	27	0
	鹿島臨海	40	1	41	5
	玉造	8	1	9	1
	波崎	15	1	16	1
	鹿島中央	20	1	21	2
合計	110	4	114	9	

	茨城ロータリーE	9	1	10	4
--	----------	---	---	----	---

	期首会員数	純増	4/13会員数	内女性会員数
地区合計	1815	82	1897	190

2. ローターアクトクラブ会員数

RAC名	7/1会員数	4/13会員数	RAC名	7/1会員数	4/13会員数
水戸	11	11	古河地区	1	1
下館	4	3	土浦	7	5
つくば学園	6	8	茨城県北	5	5
土浦南	7	3	笠間	2	2
			合計	43	38



第8分区 バナー紹介

銚田ロータリークラブ



作図は元中学校美術教師だった皆川寛先生にお願いしました。葦と北浦と筑波山と自然の景を表しロータリーマークは太陽を意味しています。自然と友愛を全体的に意図し、茨城国体の開催の年でもあり、水と緑と真心を表しています。生地は空と水とを表すよう良生地を使用しました。

鹿島臨海ロータリークラブ



鹿島臨海ロータリークラブは、太平洋に面しており、バナーは波を表しています。
波は、捉え方に依って荒々しくも、また、美しくもあります。
波のごとく動き、波に揉まれ、太平洋のように大きな心の人間になり、奉仕活動をする。
壮大な波を表したバナーです。

玉造ロータリークラブ



1977年創立当時青木栄先生（美術の先生）にお願いして「葦と霞ヶ浦と筑波山、帆掛け船」を配し水郷の景を題して作成して頂いたと言われています。
旧玉造（現行方市）は霞ヶ浦に添った地域であり、水辺には葦が生い茂り霞ヶ浦には漁をする帆引き船が往来し遠方には素晴らしい筑波山が願望出来る場所です。玉造ロータリークラブも霞ヶ浦で行われている「霞ヶ浦葦舟世界大会」応援しています。

波崎ロータリークラブ



当クラブは、神栖市・旧波崎町をメンバーエリアにて結成し、波崎の町は、太平洋と利根川に囲まれ、漁業中心を生業として来ました。
クラブ発足に当たり、バナーの作成については、地域の特性を生かすべき、波と水の色をバックとし、全国でも有数の漁獲高であった「いわし」を中心に、当時日本でも一番長い橋梁を誇る銚子大橋を取り入れて作成いたしました。

鹿島中央ロータリークラブ



遠き昔…鹿は
荒ぶる神々の東征に同行し
壮大な社の建立に目を見張り
防人の勇壮な鹿島立ちを見送った
そして今…鹿は
神宮の千古の緑を逍遙し
アントラズレッドの旗波に踊り
鹿島港のローヤルブルーを目に映し跳ねる
奉仕のしるし、ロータリーマークを頂部に載き輝く未来に向け、胸を張り跳躍する若鹿
それは我が鹿島中央ロータリークラブの象徴
それは我が鹿島中央ロータリアンの熱き心

編集後記

3月28日笠間RC65周年記念例会、4月5日結城RC60周年、6日北茨城RC50周年、5月27日土浦南RC60周年と半世紀を超える歩みを祝う行事が行われます。また、若いクラブの周年行事も続きます。紙面の都合上十分に掲載できないことを申し訳なく存じます。
クラブの継承と発展は大変すばらしく大事なことです。大高ガバナーの高萩RCは54年前認証状伝達式をしましたが、式場には結城RCから4名、笠間RC7名、土浦南RC4名の会員が御祝いに参列してくれました。北茨城RCの式典では、スポンサー高萩RCへ感謝状贈呈がありました。
周年式典について少ない紙面ですが、新クラブ結成の喜び、クラブ間の交流、そうして発展してきたロータリーの活動と伝統を読んでもいただければ、大変すばらしいことです。
(月信編集委員会 小森勇一)

